



**JPN Class**

Online school - 日本語で学ぼう

# 国語の学習

## 小学校

## 六年生

## 十二月 第③週



# 学習を始める前に

## ①必ず用意してください

### ・ノート

(学習しやすいように、漢字のノートと国語のノートを分けるなど工夫をすること。)

### ・筆記用具 (赤ペンも用意すること。)

## ②注意

・大事だと思うところはノートに書いてください。

・このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後の**お知らせ**を見てください。

・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示に従ってください。



・必要があるときは、ビデオを止めたり、もう一度ビデオを見たりするなど、それぞれ工夫をください。

## 先週の宿題から

### 1. 漢字

漢字テストで間違えた漢字を学習しましょう。

### 2. 音読 「平和のとりでを築く」を読みましょう。

### 3. 「平和」についてもっと知りたくなったこと、感じたことを作文に書きましよう。

#### ① 仮の要旨を決める。

#### ② 必要な材料を集める。

# 漢字テスト

読み方をノートに書きましょう。

宣言

訳

宗教

雑誌



## 漢字テスト

読み方をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

宣言

せんげん

訳

やく

宗教

しゅうきょう

雑誌

ざっし

## 漢字テスト②

漢字をノートに書きましよう。

せんげん

やく

しゅぎょう

こひび



## 漢字テスト②

漢字をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

せんげん

宣言

やく

訳

しゅうぎょう

宗教

ざっし

雑誌

平和のとりでを築く

ひろしま

ばくだん

おおむた  
大牟田 稔 みのる

広島市には、一発の原子爆弾で破壊され、そのままの形で今日まで保存されてきた「原爆ドーム」とよばれる建物がある。この原爆ドームが、平和を築き、戦争をいましめるための建物として、**ユネスコの世界遺産**への仲間入りを果たしたとき、わたしは、建築されてからこの日まで、この傷だらけの建物がたどってきた年月を思わずにはいられなかった。その年月は、わたしたちの父や祖父母たちが生きてきた時代、そして、社会が激しく変わっていった時代と重なる。

「原爆ドーム」は、広島市のほぼ中心を流れる川のほとりに建っている。もともとは、**物産陳列館**として、一九一五年（大正四年）に完成した。ヨーロッパ出身の若い建築家が設計した鉄骨・れんが造りの三階建てで、建物の真ん中には、**楕円形**の丸屋根（ドーム）が五階の高さにつき出ている。建てられた当時は、小さいながら、**ひととき**目立つ建物だったという。

この建物は、広島を取り巻く時代の流れをじっと見守ってきた。この建物がかげを落とす川には、荷物を運ぶ小ぶねが行きかっていたし、夏になると、子どもたちが水遊びや水泳を楽しんでいた。また、小学生たちの絵や書の作品展の会場としても、この建物は多くの市民に親しまれていた。

## 《新しい漢字》

傷きず

## 《言葉の意味》

ユネスコ

教育・科学・文化を通じて世界の平和につくすために設立された国連の機関。

## 物産陳列館

広島県の産業をすすめるために建てられた展示会場。その後、**産業奨励館**などと、名前が何度か変わった。







被爆した広島市街の様子

一九四五年（昭和二十年）八月六日午前八時十五分、よく晴れた夏空が広がる朝、広島市に原子爆弾が投下された。それは、この建物にほど近い、約六百メートルの上空で爆発した。強烈な熱線と爆風が放射線とともに市街をおそった。市民の多くは一瞬のうちに生命をうばわれ、川は死者でうまるほどだった。ようやく生き残った人々も傷つき、その多くは死んでいった。

爆心地に近かったこの建物は、たちまち炎上し、中にいた人々は全員なくなったという。建物は、ほぼ真上からの爆風を受けたため、全焼はしたものの、れんがと鉄骨の一部は残った。丸屋根の部分は、支柱の鉄骨がドームの形となり、この傷だらけの建物の最大の特徴を、後の時代にとどめることとなった。原爆ドームを保存するか、それとも取りこわしてしまうか、戦後間もないころの広島では議論が続いた。保存反対論の中には、「原爆ドームを見ていると、原爆がもたらしたむごたらしいありさまを思い出すので、一刻も早く取りこわしてほしい。」という意見もあった。



市民の意見が原爆ドーム保存へと固まったのは、一九六〇年（昭和三十五年）の春、急性白血病でなくなった一少女の日記がきっかけであった。赤ちゃんだったころに原爆の放射線を浴びたその少女は、十数年たって、突然、被爆が原因とみられる病にたおれたのだった。残された日記には、あの痛々しい産業奨励館だけが、いつまでも、おそるべき原爆のことを後世にうったえかけてくれるだろう―、と書かれていた。この日記に後おしされて、市民も市役所も「原爆ドーム永久保存」に立ち上がったのである。保存と言っても、傷ついた建物だけに簡単ではない。風や雨、雪に打たれ、震動にさらされる原爆ドームには、何より補強工事が急がれた。このことが新聞やテレビで伝えられると、全国から保存を願う手紙や寄付が次々と広島市に届けられるようになった。その後、補強工事は何度かくり返され、今の形を保っている。

日本が一九九二年（平成四年）にユネスコの世界遺産条約に加盟した直後から、広島では、原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まった。そして、その動きは、たちまち全国へと広がっていった。この市民中心の活動は、原爆ドームが世界遺産に指定される一九九六年（平成八年）まで続いたのである。

世界遺産は、人間の歴史に大きな役割を果たした文化遺産と、地球上にある貴重な自然遺産を、未来に向けて大切に守っていくために、ユネスコと世界の国々が調査し、指定していく制度である。エジプトのピラミッドや、ギリシャのオリンピックア遺跡など、すでに七百か所以上、世界遺産として**手厚く**保護されている。日本では原爆ドームより前に、**姫路城**や**屋久島**などが選ばれている。

《新しい漢字》

補強

加盟

貴重

原爆ドームが世界遺産の候補として、世界の国々の審査を受けることになったとき、わたしは、ちよっぴり不安を覚えた。それは、原爆ドームが、戦争の被害を強調する遺跡であること、そして、規模が小さいうえ、歴史も浅い遺跡であることから、果たして世界の国々によって認められるだろうかと思っただからであった。しかし、心配は**無用**だった。決定の知らせが届いたとき、わたしは、世界の人々の、平和を求める気持ちの強さを改めて感じたのだった。痛ましい姿の原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな**惨害**をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけない、いや、核兵器はむしろ不必要だと、世界の人々に**警告**する**記念碑**なのである。

国連のユネスコ憲章には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」と記されている。原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

《新しい漢字》  
みと  
認める



核兵器開発反対 (パキスタン)

自分の考えを伝えるための方法についてまとめましょう。

### 〈資料1〉

〈コスタリカの小学校の授業の様子です。コスタリカは、中央アメリカにある国です。一九八三年に、「非武装中立」を宣言し、「軍隊をすてた国」として有名になりました。筆者は、どうしてそれが可能だったのか、現在どうしているのかを知りたくて取材に行きました。〉

その日の課題は、それぞれがイメージする平和の絵をえがくことだった。各自思い思いに色鉛筆を取り、画用紙にいろんな絵を描いてゆく。ある少年は、「友達とけんかして仲直りした図」。またある少女は「家族とともにいる図」。さらには、美しい山やすんだ川が流れる風景もある。(中略) それは、こどもたちにとってはまさに平和を意味するのだ。

(「平和を作る教育」早乙女愛・足立力也)

### 〈資料2〉

〈ボスニア・ヘルツェゴビナの十一歳の少女のズラータさんの話です。ボスニア・ヘルツェゴビナは東ヨーロッパの国です。民族と宗教のちがいがから、国内で争いが起こり、昨日まで仲よくしていたとなりどうしが敵みかたになりました。激しい戦いは、一九九二年から一九九五年まで続きました。筆者は、戦火の中の子どもたちにインタビューをして本をまとめました。〉

「学校へいくことのない、学校へいく楽しみも興奮もない小学生。ゲームも友だちも、太陽も鳥も自然も、果物もチョコレートもおかしもなくて、あるのはわずかな粉ミルクだけという小学生よ。(中略) わたしがまた小学生にもどれるときがくるの？このばかげた戦争のせいで、わたしの子ども時代はだいなしよ！。戦争はやめて！平和がほしい！」

(「子供たちの戦争」マリアーオーセイミ 落合恵子訳)

\*資料1、資料2は、どんな内容をあつかっていますか。

資料1 子どもにとって(平和)とは何か。

資料2 (戦争)の中の子どもたち。



## 自分の考えを書きましよう。

(1) 考えていること、中心を短く書きましよう。【仮の要旨】

〔例〕戦争は肉体と心に対する暴力だ。「平和のとりでを築く」ということは、日常生活での暴力をなくすことから始まるのではないか。

(2) 自分の考えが読み手に明確に伝わるように、文章を書きましよう。

① 発信方法を考える【今回はインターネットを使って発信します。】

② 必要な材料を集める。

「仮の要旨」が説得力をもつように、具体例や同じ考えの資料などを集める。反対の意見も材料になる。信頼できる材料かどうか確かめるようにしましよう。

〔例1〕新聞・雑誌・本やテレビ番組、インターネットなどから。

〔例2〕アンケートやインタビューなどで。

③ 材料をもとに、要旨をまとめ直す。（確定した要旨）

④ 要旨を展開するための構成を考え、必要な材料を選ぶ。

事実（具体的・資料・引用など）と、考え・意見を区別して書くと、読み手に分かりやすい。また、別の考えや反対意見を取り上げ、それに対する反論を述べるといいです。

**\*自分の考えを読み手に伝えるための方法についてまとめましよう。**

○ 考えていること、（ ）（仮の要旨）を短く書く。

⇐

○ 自分の考えが（ ）に伝わるように、文章を書く。

・ 発信方法を考える。

・ 必要な（ ）を集める。

⇐

・ 材料をもとに考えて、要旨（確定した要旨）をまとめ直す。

⇐

・ 要旨を展開するための（ ）を考え、材料を選ぶ。



## 自分の考えを書きましよう。

(1) 考えていることを短く書きましよう。【仮の要旨】

〈例〉戦争は肉体と心に対する暴力だ。「平和のとりでを築く」ということは、日常生活での暴力をなくすことから始まるのではないか。

(2) 自分の考えが読み手に明確に伝わるように、文章を書きましよう。

① 発信方法を考える【今回はインターネットを使って発信します。】

例1 文集↓伝わるはんいは限られるが、読者を想定することができる。

例2 ホームページ↓多くの人に見てもらえるが、相手はつきりしない。

② 必要な材料を集める。

「仮の要旨」が説得力をもつように、具体例や同じ考えの資料などを集める。反対の意見も材料になる。信頼できる材料かどうか確かめるようにしましよう。

〈例1〉新聞・雑誌・本やテレビ番組、インターネットなどから。

〈例2〉アンケートやインタビューなどで。

③ 材料をもとに、要旨をまとめ直す。(確定した要旨)

④ 要旨を展開するための構成を考え、必要な材料を選ぶ。

事実(具体的・資料・引用など)と、考え・意見を区別して書くと、読み手に分かりやすい。また、別の考えや反対意見を取り上げ、それに対する反論を述べるといいです。

(1) 発信方法について考えましよう。

文集とホームページという二つの発信方法の特徴は何ですか。

ア 多くの人に見てもらえる。

① 文集

イ 伝わるはんいが限られる。

② ホームページ

ウ 相手はつきりしない。

エ 読み手を想定することができる。

(2) 材料を集めるとき大切なことは何でしよう。正しいものに○、まちがっているものには×を書きましよう。

ア 自分の考えに合う具体例や、同じ考えの資料を集める。

イ 自分の考えの反対意見になるように材料は集めない。

ウ どんなものから得られた材料でもすべて信用してどんどん使う。

(3) 構成を考えるとき注意するとよいことは何ですか。

・ ( ) と、考え・ ( ) を区別する。

・ 別の考えや反対意見を取り上げ、それに対する ( ) を述べる。



自分の考えを書きましよう。

(1) 考えていることの中心を短く書きましよう。【仮の要旨】

〈例〉戦争は肉体と心に対する暴力だ。「平和のとりでを築く」ということは、日常生活での暴力をなくすことから始まるのではないか。

(2) 自分の考えが読み手に明確に伝わるように、文章を書きましよう。

① 発信方法を考える【今回はインターネットを使って発信します。】

② 必要な材料を集める。

「仮の要旨」が説得力をもつように、具体例や同じ考えの資料などを集める。反対の意見も材料になる。信頼できる材料かどうか確かめるようにしましよう。

〈例1〉新聞・雑誌・本やテレビ番組、インターネットなどから。

〈例2〉アンケートやインタビューなどで。

③ 材料をもとに、要旨をまとめ直す。(確定した要旨)

④ 要旨を展開するための構成を考え、必要な材料を選ぶ。

事実(具体的・資料・引用など)と、考え・意見を区別して書くこと、読み手に分かりやすい。また、別の考えや反対意見を取り上げ、それに対する反論を述べるといいです。

\*自分の考えを読み手に伝えるための方法についてまとめましよう。

○ 考えていること(中心) (仮の要旨) を短く書く。

⇐

○ 自分の考えが(明確)に伝わるように、文章を書く。

・ 発信方法を考える。

・ 必要な(材料)を集める。

⇐

・ 材料をもとに考えて、要旨(確定した要旨)をまとめ直す。

⇐

・ 要旨を展開するための(構成)を考え、材料を選ぶ。

## 自分の考えを書きましよう。

(1) 考えていることを短く書きましよう。【仮の要旨】

〈例〉戦争は肉体と心に対する暴力だ。「平和のとりでを築く」ということは、日常生活での暴力をなくすことから始まるのではないか。

(2) 自分の考えが読み手に明確に伝わるように、文章を書きましよう。

① 発信方法を考える【今回はインターネットを使って発信します。】

例1 文集↓伝わるはんいは限られるが、読者を想定することができる。

例2 ホームページ↓多くの人に見てもらえるが、相手はつきりしない。

② 必要な材料を集める。

「仮の要旨」が説得力をもつように、具体例や同じ考えの資料などを集める。反対の意見も材料になる。信頼できる材料かどうか確かめるようにしましよう。

〈例1〉新聞・雑誌・本やテレビ番組、インターネットなどから。

〈例2〉アンケートやインタビューなどで。

③ 材料をもとに、要旨をまとめ直す。(確定した要旨)

④ 要旨を展開するための構成を考え、必要な材料を選ぶ。

事実(具体的・資料・引用など)と、考え・意見を区別して書くと、読み手に分かりやすい。また、別の考えや反対意見を取り上げ、それに対する反論を述べるといいです。

(1) 発信方法について考えましよう。

文集とホームページという二つの発信方法の特徴は何ですか。

① 文集 **イ エ**

② ホームページ **ア ウ**

ア	多くの人に見てもらえる。
イ	伝わるはんいが限られる。
ウ	相手はつきりしない。
エ	読み手を想定することができる。

(2) 材料を集めるとき大切なことは何でましよう。正しいものに○、まちがっているものには×を書きましよう。

○ **ア** 自分の考えに合う具体例や、同じ考えの資料を集める。

× **イ** 自分の考えの反対意見になるように材料は集めない。

× **ウ** どんなものから得られた材料でもすべて信用してどんどん使う。

(3) 構成を考えるとき注意するとよいことは何ですか。

・ (事実) と、考え・ (意見) を区別する。

・ 別の考えや反対意見を取り上げ、それに対する (反論)

を述べる。



〈構成例1〉

1. 暴力事件が絶えない
  - ・ ニュースらの実例二つ
2. 暴力はいやだ ―体験―
3. 「相手が先に暴力をふるってきたら、やむおえないだろう。」
  - ・ 反論
4. 暴力をなくす方法をみんなで考えよう。 (要旨)

〈構成例2〉

1. 戦争によって苦しんでいる子どもたちを救うために、自分にもできることをしたい。 (要旨)
2. 世界の子どもたち
  - ・ 地雷のぎせいに／兵士となって／働く子どもたち／子ども会議
3. 世界の子どもたちのことを知った感想
4. インタネットで調べた活動
  - ・ これならできる

\* 〈構成例1〉 〈構成例2〉 の特徴は何ですか。

から、それ

ぞれ二つ選びましょう。

① 〈構成例1〉    **イ**    **ウ**

② 〈構成例2〉    **ア**    **エ**



ア 要旨を最初に述べている。

イ 要旨を最後に述べている。

ウ 自分の考えに反する意見を取り上げたうえで、それに対する反論を述べている。

エ 要旨を説明するために具体的な事実を取り上げ、それに対する感想を述べている。

「平和」について自分の考え書いてみましょう。

## 1 「平和」について考えましょう。

「平和のとりでを築く」や、資料1、資料2から、「平和」に関連してもっと知りたくなったことを、感じたことは何ですか。

- ・自分にとって「平和」とは
- ・「平和」を守るには
- ・戦争が起こる原因は何か  
(みんな戦争はいやだと思っているはずなのに、どうして起こるのだろうか)
- ・戦争が起きないようにするには
- ・日本と世界  
(戦争によって、今つらい思いをしている子どもたちがいるんだよ。)
- ・わたしたちの生活と平和  
(平和のために行動している子どももいるんだって)

## 2

自分の考えを書きましょう。

(1) 考えていることを短く書きましょう。【仮の要旨】

- 〈例〉戦争は肉体と心に対する暴力だ。「平和のとりでを築く」ということは、日常生活での暴力をなくすことから始まるのではないか。
- (2) 自分の考えが読み手に明確に伝わるように、文章を書きましょう。
- ① 発信方法を考える【今回はインターネットを使って発信します。】
- ② 必要な材料を集める。

「仮の要旨」が説得力をもつように、具体例や同じ考えの資料などを集める。反対の意見も材料になる。信頼できる材料かどうか確かめるようにしましょう。

〈例1〉新聞・雑誌・本やテレビ番組、インターネットなどから。

〈例2〉アンケートやインタビューなどで。

③ 材料をもとに、要旨をまとめ直す。(確定した要旨)

④ 要旨を展開するための構成を考え、必要な材料を選ぶ。

事実(具体的・資料・引用など)と、考え・意見を区別して書くこと、読み手に分かりやすい。また、別の考えや反対意見を取り上げ、それに対する反論を述べるといいです。

#### 〈構成例1〉

1. 暴力事件が絶えない
  - ・ ニュースらの実例二つ
2. 暴力はいやだ ― 体験―
3. 「相手が先に暴力をふるってきたら、やむおえないだろう。」
  - ・ 反論
4. 暴力をなくす方法をみんなで考えよう。 (要旨)

#### 〈構成例2〉

1. 戦争によって苦しんでいる子どもたちを救うために、自分にもできることをしたい。 (要旨)
2. 世界の子どもたち
  - ・ 地雷のぎせいに／兵士となって／働く子どもたち／子ども会議
3. 世界の子どもたちのことを知った感想
4. インターネットで調べた活動
  - ・ これならできる

### 3 書いたものを発信しましょう。

自分の書いた意見文を発信しましょう。今回は、インターネットで友だちに発信します。

「平和」について考えている友だちがいるかもしれません。意見や感想を交流してみましょう。

それでは、書いてみましょう。書きあがったらインターネットで配信しましょう。



## インターネットと学習

インターネットは、世界中のコンピュータをつなぐネットワークです。インターネットを利用すれば、地球上のどこからでも、いつでも、だれでも情報をやり取りすることができます。

### (1) 調べる

インターネット上には、たいへん多くの情報があります。したがって、その中から必要な情報を自分で選び出さなければなりません。また、一つの事がらについて、さまざまな情報が発信されていることがあります。利用するときは、「だれが、いつ発信したのか。」「信にん

用できる情報なのか。」ということなどを確認しましょう。分からないことは、発信元に問い合わせることもできます。

インターネット上の情報を利用するときには、本で調べるときと同じように、いくつかのルールがあります。ホームページに公開されている写真や文章をコピーして使うときは、作った人に使う目的を知らせて許可を求めるとよいにします。また、その一部を引用して使うときには、作った人の名前やれんらく先をきちんと表示しましょう。

### (2) 発信する

だれでもホームページを作成し、世界じゅうに情報を発信することができずす。そのときには、情報を分かりやすく構成することが大切です。

自分が考えたことと、何かの資料で調べて分かったことは、きちんと区別して書き分けましょう。どんな資料と調べたのかということを書き必ず書きそえるようにします。質問が来ることも想定して、内容を確かなものにしておきましょう。

また、他の人を傷つける内容を発信したり、他の人の情報（名前・住所・電話番号など）を無断で公開してはいけません。



### (3) 交流する

インターネットを使うと、年齢や住んでいるところにちがいはあっても、簡単にさまざまな人と交流することができます。

電子メールは、主に文章をやり取りするものです。手紙を送るよりも手軽に、知らせたいことを伝えることができます。手紙と同じように、「だれに伝えるのか。」「どのような言葉づかいをすればいいのか。」といったことを考えながら、分かりやすい文章を作成することが大切です。

また、インターネットでは画像や映像、音声などもやり取りができます。遠くにいる人と、相手の顔や資料などを見ながら交流することが可能です。

あなたが身につけてきた「言葉の力」を思い切り生かして、インターネットを学習に役立てていきましょう。

インターネットを学習に役立てるために、注意することをまとめましょう。  
から選んで（ ）に書きましょう。

#### ○調べるとき

・（ ）な情報を選ぶ。

・その情報が（ ）できるかどうかを確かめる。

・情報を利用するときは、発信者の（ ）を求める。

#### ○発信するとき

・自分で考えたこととそうでないことを区別する。

・ほかの人の情報を（ ）で公開しないようにする。

#### ○交流するとき

・電子メールでは、手紙と同じように、分かりやすい文章を作成するように心がける。

許可

信用

必要

無断

## 《答え》

### (3) 交流する

インターネットを使うと、年齢や住んでいるところにちがいはあっても、簡単にさまざまな人と交流することができます。

電子メールは、主に文章をやり取りするものです。手紙を送るよりも手軽に、知らせたいことを伝えることができます。手紙と同じように、「だれに伝えるのか。」「どのような言葉づかいをすればいいのか。」といったことを考えながら、分かりやすい文章を作成することが大切です。

また、インターネットでは画像や映像、音声などもやり取りができます。遠くにいる人と、相手の顔や資料などを見ながら交流することが可能です。

あなたが身につけてきた「言葉の力」を思い切り生かして、インターネットを学習に役立てていきましょう。

インターネットを学習に役立てるために、注意することをまとめましょう。  
□ から選んで ( ) に書きましょう。

#### ○調べるとき

- ・ ( **必要** ) な情報を選ぶ。
- ・ その情報が ( **信用** ) できるかどうかを確かめる。
- ・ 情報を利用するときは、発信者の ( **許可** ) を求める。

#### ○発信するとき

- ・ 自分で考えたこととそうでないことを区別する。
  - ・ ほかの人の情報を ( **無断** ) で公開しないようにする。
- 交流するとき
- ・ 電子メールでは、手紙と同じように、分かりやすい文章を作成するように心がける。

許可

信用

必要

無断

## 宿題

次回の授業までにやる勉強です。

### 1. 漢字

- ① 漢字テストで間違えた漢字を学習しましょう。
- ② 「平和のとりでを築く」の中の漢字が、しっかりと読めるように学習しましょう。

### 2. 音読

- ① 「平和のとりでを築く」を読みましょう。
- ② 「平和について自分の考え書いてみましょう。」を読み、自分の考えの書き方を確認しましょう。
3. 「平和」についてもっと知りたくなったこと、感じたことを作文に書きましょう。
- ① まだ書きあがっていない人は、作文を書きあげて、インターネットで配信しましょう。
- ② 書き上げた人は、忘れずにインターネットで配信しましょう。



## お知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
  2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って  
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 [Akiko@JPNCClass.com](mailto:Akiko@JPNCClass.com) です。
  - ❖ このビデオのスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から  
ダウンロードや印刷ができます。





**JPN Class**

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

年間学習表



8月	7月	6月	5月	4月		
		<p>討論会をしよう 討論会の流れと進 め方を学習しよう。</p>			<p>1年間の学習を通し て先生の話を聞き、 学習を進めよう。</p>	話す／聞く
	<p>本は友達 自分の好きな本を 紹介しよう。</p>	<p>ガイドブックを作る う 読み手に必要な情 報、自分が伝えた いことをふまえて、 文章を書こう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 文章全体を短くま とめよう。(要約 しよう。)</p>	<p>カレライス 主人公と似た経験 について書こう。</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、 記事に対する自分 の意見を書こう。</p>	書く
<p>船りんご 詩の言葉に現れた 筆者の気持ちを讀 み取ろう。</p>	<p>森へ 情景を想像しながら 読んで、森のイ メージを豊かに伝 える効果的な表現 を味わおう。</p>	<p>短歌・俳句の世界 短歌や俳句を讀ん で、リズムや言葉 の美しさを感じよ う。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 筆者が文章を通し て一番言いたいこ とは何か考えよう。</p>	<p>カレライス 主人公の気持ちを 考え、自分と重ね 合わせて読んでみ よう。</p>	<p>新聞記事 記事の内容を讀み 取ろう。</p>	読む
<p>同じ訓を持つ漢字 同じ訓を持つ漢字 それぞれの意味と 使い方を知ろう。</p>			<p>暮らしの中の言葉 ことわざや漢字四 字の言葉の、意味 や使い方を理解し よう。</p>	<p>漢字の形と音・意味 漢字の音を表す部 分、意味を表す部 分を知り、漢字の 組み立てを理解し よう。</p>		言葉

1月	12月	11月	10月	9月	
	自分の考えを発信しよう 自分の考えをインターネットを使って、友だちに発信しよう。			みんなで生きる町 調べたことや考えたことを分かりやすく伝えよう。	話す／聞く
今、わたしは、ぼくは 自分の思いが伝わるような表現を身に付けよう。	自分の考えを発信しよう 「平和」に関する資料を通じて、自分の考えを書こう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考えについて分かったこと、思ったことを書こう。	やまなし この作品を読んで思ったことを、自分なりにまとめてみよう。	みんなで生きる町 調べたことをもとに、提案書を作ろう。	書く
感動を言葉に見たり感じたりしたことをもとに、心のつぶやきを言葉にしよう。	平和のとりでを築く文の書き方の特徴に気をつけて、筆者の考えを読み取ろう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考え方や生き方を読み取ろう。	やまなし 独特な言葉や表現を味わおう。情景を想像しながら読んで、作品の特徴を考えよう。	みんなで生きる町 だれもが暮らしやすくするにはどうしたらいいか考えよう。	読む
	インターネットと学習 インターネットを学習に役立てるために、注意することを確かめよう。	覚えておきたい言葉 教科や社会生活の中で使われる言葉の意味を理解しよう。	熟語の成り立ち 漢字二字・三字・四字以上の熟語について理解を深めよう。	日本で使う文字 平仮名と片仮名の由来を知ろう。ローマ字とのかかわりを知ろう。	言葉

	3月	2月	
			話す／聞く
	<p>今、君たちに伝えたいこと            筆者が伝えたいことをまとめ、俺に対する自分の考えを書こう。</p> <p>生きる            「生きる」の形をまねて、詩を創ってみよう。</p>	<p>わたしたちの言葉            いろいろなあいさつについてまとめてみよう。</p>	書く
	<p>今、君たちに伝えたいこと            筆者が経験をとおして子どもたちにつたえたいメッセージを読み取ろう。</p> <p>生きる            それぞれの連に注意しながら、作者の考える「生きる」を読み取ろう。</p>	<p>海の命            周りの人々とのかわりの中で成長していく主人公の姿を読み取ろう。登場人物の言動から生き方や考え方を読み取ろう。</p> <p>言葉の橋            詩を味わい、心を伝える言葉の働きについて筆者の考えを読みとろう。</p>	読む
<p>六年生の漢字            六年生で習った漢字の復習をしよう。</p>		<p>漢字クイズ            小学校で習った漢字を、正しく理解しているか確かめよう。</p>	言葉